

国立国語研究所学術情報リポジトリ

KOTONOHA検索コンテスト2020 優秀賞受賞作品1

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): KOTONOHA 作成者: 伊藤, 秀明, Ito, Hideaki メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003179

氏名(所属)	伊藤 秀明 (筑波大学)
テーマ名	特定のコーパスに集中する語

1. 「友達」

・検索条件

書字出現形が「友達」

前方共起条件を追加する

キー キーの条件を指定しない

書字形出現形 条件を削除する 条件を追加する

後方共起条件を追加する

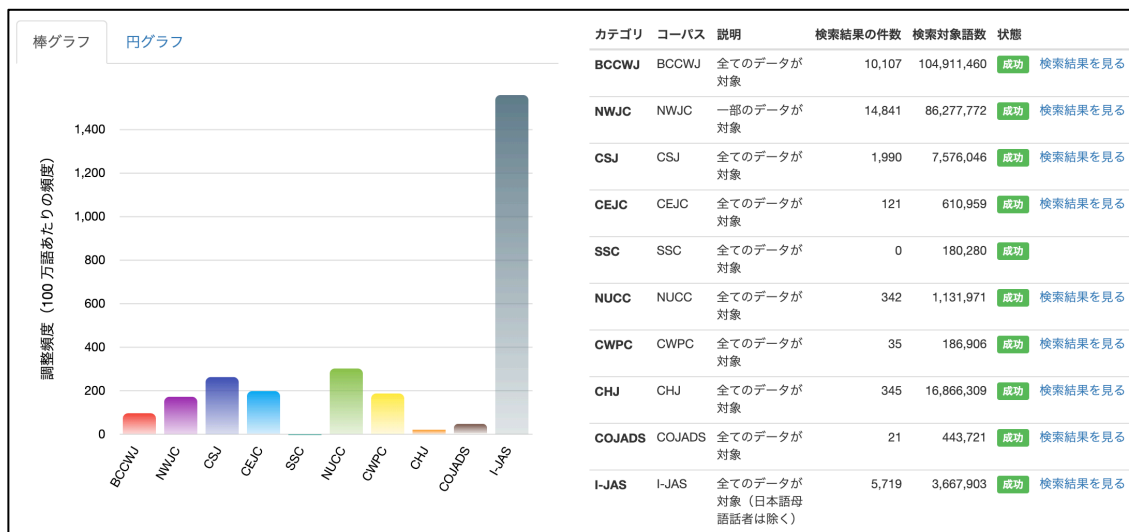
検索対象 ?

コーパス毎 書き言葉・話し言葉 時代

検索対象を設定する

検索する
条件クリア
キャンセルする

・検索結果



・考察

多くがI-JASの「対話」に集中していることから、学習者の過去の語りには「友達」が多く出現し、かつ「友人」は少数であることから学習者にとって「友達」が固定化された表現となっていると考えられる。

2. 「あなた」

・検索条件

書字出現形が「あなた」

前方共起条件を追加する

キー ▼ キーの条件を指定しない

書字形出現形 ▼ が
条件を削除する
条件を追加する

後方共起条件を追加する

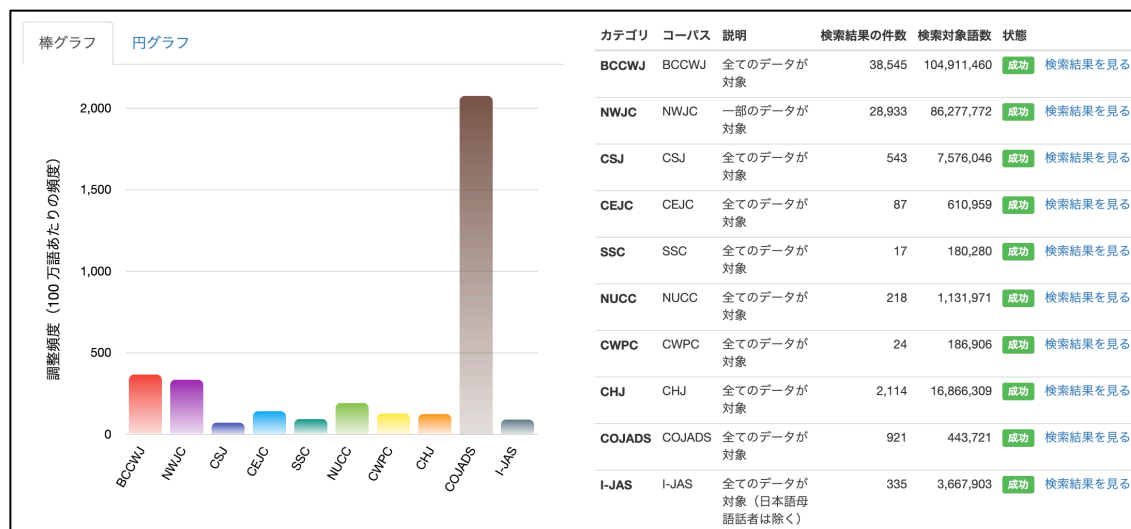
検索対象 ?

コーパス毎
 書き言葉・話し言葉
 時代

検索対象を設定する

検索する
条件クリア
キャンセルする

・検索結果



・考察

COJADS の出現の約 3 分の 1 が「九州・沖縄」地域の特に「大分」に集中していることから、全国的にはあまり使用されない「あなた」が大分県では二人称として使用されていたのではないかと推察される。他のコーパスでも大きな割合が見られないことから地域特有のものと思われる。